

令和6年度 公民館等団体別利用状況 (西白井公民館)

種別	青少年		成人		女性		高齢者		その他		個人		合計	
月	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4	63	879	269	2,984	18	201	20	273	1	13	18	81	389	4,431
5	62	1,080	236	2,898	12	159	16	210	3	22	5	35	334	4,404
6	57	850	281	2,848	17	191	23	350	6	51	15	67	399	4,357
7	52	843	258	3,076	15	146	20	246	13	662	15	85	373	5,058
8	52	787	205	2,024	17	168	18	263	10	239	33	178	335	3,659
9	51	1,045	235	2,387	27	268	18	236	9	796	26	142	366	4,874
10	67	1,280	271	2,863	14	218	21	256	26	801	20	71	419	5,489
11	49	908	227	2,759	17	185	22	316	18	427	11	61	344	4,656
12	50	920	196	2,083	17	199	17	193	29	3,486	8	51	317	6,932
1	64	998	220	2,365	19	181	21	323	14	283	11	53	349	4,203
2													0	0
3													0	0
合計	567	9,590	2,398	26,287	173	1,916	196	2,666	129	6,780	162	824	3,625	48,063
令和5年度・令和4年度それぞれの合計														
R5	756	11453	2899	31244	142	1841	258	2890	180	4962	222	1175	4457	53565
R4	734	9688	3003	29423	139	1681	244	2633	149	3955	248	990	4517	48370

年間利用率は、小数点第1位まで記入してください。(小数点第2位を四捨五入)

令和6年度部屋別利用件数・利用人数

部屋名	利用件数(件)	利用人数(人)	年間利用率(%)
工芸室	373	2,862	30.8%
調理実習室	70	707	9.1%
研修室	641	6,081	49.8%
作法室	453	3,189	35.2%
視聴覚室	726	10,526	57.7%
レクホール	1,362	24,698	89.6%
合 計	3,625	48,063	
令和5年度・令和4年度それぞれの合計			
令和5年度	4457	53565	
令和4年度	4517	48370	

2025年
1月末

令和 6 年度西白井公民館 事業報告

(R7.1.31 現在)

1 運営方針

(1) 全体の運営方針

- ・規制が緩和され停滞した活動に活気を取り戻す。
- ・白井で生活する充実感や楽しさを知ってもらい健康で生きる喜びと幸福感を与える。
- ・住みやすさが評判の西白井にある公民館としておもてなしの心で多くの方々に利用していただくと共に新しいコミュニティに参画するきっかけを作る。

(2) 分野別方針

	運営目標
家庭教育 (1)	①子育て中の保護者同士が交友関係を広げ、お互いに支え合える仲間を作る。 ②子育ての支援を行い、地域全体で子育てを支える仕組みを作る。 ③子育て中の悩みや様々な問題を解決する手助けとなる知識を学ぶ。
青少年教育 (2)	①考え方や性格の異なる人同士が交流して個人を尊重し認め合う人物になる。 ②様々な学習・活動に取り組むことで学ぶことの楽しさや充実感を実感する。 ③講座を通し考察力や表現力を身に付け、コミュニケーション能力を高める。 ④中高生の生活を充実させる。
成人教育 (3)	①自己発見・自己実現のできる学習の場を提供する。 ②レクリエーションや運動により、加齢による能力の低下を予防する。 ③話し合いを通じて、地域の抱える身近な問題の解決方法を考える。 ④現代社会において、より良く生活するための知識を身につける。 ⑤高齢者や子育て世代の方々の生活を充実させる。
団体育成 (4)	①地域で活躍する人材と協力し、活動の発展や新たな活動の場をつくりだす。 ②地域住民が交流し、活動に取り組むための仲間づくりの場を提供する。 ③活動が停滞した団体を補助し、活動状態が盛んになることを目指す。

(3) 令和 6 年度 重点的に実施した項目（講座・事業など）

- ・中高生が参加できるように「将棋のじかん」を実施した。
- ・地域住民の教養を高める事業に取り組むため「白井ネクスト 5・10」を実施した。
- ・講座や事業の参加者が高齢化していて健康増進をはかるため認知症予防講座を実施した。
- ・子育て以上の方に関心が高く参加しやすい事業として「N I S A 講座」を実施した。
- ・年齢や性別、障がいの有無に関係なく参加できる「水彩画教室」を実施した。
- ・自粛生活より脱却し活動に活気を取り戻し、幅広い年齢層に積極的に参加してもらうため西白井複合センターまつりを開催した。

2 西白井公民館講座実施報告

(1) 学習講座事業

対象	学習講座名	運営目標	回数	参加人数
家庭教育 (1)	おやこ広場（児童館共催）	① ② ③	9 回	206 人
	ママヨガタイム（児童館共催）	① ②	1 回	6 人
青少年教育 (2)	親子で！科学体験教室	② ③	5 回	66 人
	将棋のじかん（児童館共催）	① ② ③	10 回	58 人
	夏休み子ども工作教室（児童館共催）	① ② ③	1 回	7 人
	アートで遊ぼう（児童館共催）	① ② ③	2 回	19 人
	キッズクラブ（児童館共催）	① ② ③	2 回	33 人
	読書感想文の書き方（児童館共催）	② ③	1 回	6 人
	親子でパン教室（児童館共催）	① ②	1 回	23 人
	レッツクッキング（児童館共催）	① ② ③	1 回	12 人
	書き初め講習会（児童館共催）	① ②	1 回	12 人
成人教育 (3)	男女共同参画事業（憩いの家共催） エンディングノートを書いてみよう	① ③ ④	1 回	18 人
	初心者向けスマホ講座（憩いの家共催）	① ④	1 回	20 人
	白井ネクスト 5・10	① ② ③	3 回	28 人
	40歳から始めよう（憩いの家共催）	① ④ ⑤	3 回	42 人
	大人のパン教室	① ② ④ ⑤	2 回	30 人
	腸活き活き講座	① ② ④	1 回	7 人
	和菓子講座	① ④	2 回	20 人
	N I S A 講座	① ④ ⑤	1 回	19 人
	障がい者のための水彩画教室	① ③ ⑤	1 回	5 人
	スクレツィアート画教室	① ④ ⑤	1 回	7 人
団体育成 (4)	手芸カフェ	① ②	10 回	101 人

(2) 講座以外に行った事業

事業名	参加人数
ともしびの夕べ in 白井	433 人
公民館利用者連絡協議会	23 人
西白井複合センターまつり（3 回の調整会議含む）	3116 人
レクホール開放	47 人

※参加人数については、人数を把握している（およその人数を含む）場合のみ記

(3) 情報の提供

- ・ポスター掲示（自館・他館・掲示板・外部掲示板他）
- ・広報しろいへの掲載
- ・西白井複合センターだより、児童館だより、自主事業ポスター掲示や配布
- ・ホームページへの掲載
- ・ブログへの掲載
- ・ミニコミ誌の活用
- ・SNSの活用（X・インスタグラム）

(4) 施設の提供

- ・生涯学習の場として、団体・サークルへの施設の貸出
- ・サロン開催や市民活動の場として、多目的室の貸出
- ・ロビーなど地域住民が交流できる場の提供

3 事業の評価

(1) 分野別方針

	評 価
家庭教育 (1)	・定期開催にし、参加しやすいように工夫をしたり、参加者同士育児について交流をしている様子があった。 ・ママヨガタイムは、親だけの時間が持てて良かったと好評だった。子どもだけの過ごし方もあったようだ。
青少年教育 (2)	・親子で参加する講座は、好評だった。親と子の間に日常では得られない交流があった。 ・製作をしながら子ども同士の、協調性や自主性が養われた。
成人教育 (3)	・講座名を変更して学習を深め、健康生活を送るため今から始められることを取り入れていけるようにした。 ・NISA 講座はわかりやすく、現代社会において関心の高さを伺えるものだった。 ・絵画を通して様々な世代の方に充実した生活を与えられた。
団体育成 (4)	・定期開催をして、参加者同士の交流ができた。同じ趣味を通して居場所づくりができている。サークル化へはまだ難しい状態である。

(2) 令和6年度重点的に実施した項目（講座・事業など）

評価
・将棋のじかんは、毎月定期開催にしたが参加が少ないのでさらに工夫が必要である。中高生にも興味を抱かせる講座にしていきたい。 ・白井ネクスト5・10では、教養を高められる講座にしたが参加者が思うようには集まらなかった。“SDGs!目指すゼロカーボンシティ”や“生物多様性を考えよう”などは難しい講座かと思われてしまったようだ。 ・“100歳まで元気”シリーズの講座名を変更して、“40歳から始めよう”シリーズにし、健康生活を送るため年齢を重ねても役に立つ知識を学ぶ講座にした。参加者の中には家族の方もいて、真剣に課題に取り組んでいた。 ・NISA講座はわかりやすく、参加者は熱心に耳を傾け満足できる内容だった。現代の関心の高さを伺えるものだった。 ・水彩画教室は新たに設けた講座だったが、年齢や性別、障がい者でも関係なく自由に表現できる絵画教室だった。次年度も実施していきたい。 ・西白井複合センターまつりは、昨年度の反省を生かして準備から当日、後片付けまで参加者、ボランティア、職員の皆で協力して行うことができた。来年度にむけてさらに素晴らしいイベントにしていきたい。

**令和6年度 公民館等団体利用状況
(白井駅前公民館)**

種別	青少年		成人		女性		高齢者		その他		個人		合計	
月	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4	41	740	172	1,594	12	94	14	167	5	85	11	52	255	2,732
5	36	713	174	1,650	8	62	16	197	7	125	17	72	258	2,819
6	34	611	185	1,961	9	68	13	156	14	199	16	98	271	3,093
7	43	766	181	1,514	10	70	10	115	10	176	28	112	282	2,753
8	49	798	122	1,120	11	87	9	118	7	80	24	115	222	2,318
9	43	840	173	1,399	9	65	13	146	7	149	14	71	259	2,670
10	48	952	178	1,485	13	107	19	208	20	339	22	244	300	3,335
11	38	792	156	1,520	10	99	10	126	19	342	16	119	249	2,998
12	43	911	149	1,205	11	104	11	125	12	145	20	187	246	2,677
1	38	791	149	1,532	10	78	11	134	8	115	21	153	237	2,803
2													0	0
3													0	0
合計	413	7,914	1,639	14,980	103	834	126	1,492	109	1,755	189	1,223	2,579	28,198
令和5年度・令和4年度それぞれの合計														
R5	465	8207	1925	18057	99	955	147	1807	146	3304	176	1055	2958	33385
R4	485	8379	1791	15451	111	895	143	1689	197	3722	227	1201	2954	31337

年間利用率は、小数点第1位まで記入してください。(小数点第2位を四捨五入)

令和6年度部屋別利用件数・利用人数

部屋名	利用件数(件)	利用人数(人)	年間利用率(%)
研修室Ⅰ・Ⅱ	220	3,934	22.0
研修室Ⅰ	246	1,869	17.8
研修室Ⅱ	208	1,675	16.7
作法室	422	3,083	32.2
調理室	50	673	10.6
視聴覚室	513	6,358	38.7
レクホール	920	10,606	66.1
合 計	2,579	28,198	
令和5年度・令和4年度それぞれの合計			
令和5年度	2958	33385	
令和4年度	2954	31337	

令和 6 年度白井駅前公民館 事業報告

(R7.1.31 現在)

1 運営方針

(1) 全体の運営方針

- ・子どもから高齢者・障がい者まで多様な世代が集い学ぶことをきっかけに、地域の賑わいや活力を生み出す関係をつくり、孤立化を防ぎ、災害時などにも支え合える地域づくりまちづくりを進める
- ・地域の小中学校・高等学校とも連携を図り子どもたちの社会参加を促進し、活躍できる場を提供していく
- ・市民の自主的な活動を促すために、センターに関する情報を提供する

(2) 分野別方針

	運営目標
家庭教育 (1)	①若い保護者への子育て支援を行い、地域全体で子育てを支える仕組みをつくる ②乳幼児と保護者に様々な体験を提供し、子育て中の活力を養う
青少年教育 (2)	①学年・学区の異なる子どもたちの交流を図る ②学習、体験、活動を通して、その技術を身に付けると共に学ぶ楽しさを実感する ③講座を通して社会に目を向け、視野を広げる
成人教育 (3)	①生涯学習の楽しさや意義を学ぶ ②講座を通して交流を図る ③生活の中の困りごとについて情報共有し解決を図る ④体を動かすことで、心身ともに健やかになる
団体育成 (4)	①新規団体や活動が停滞した団体をサポートし、活性化を目指す ②センターやサークルに対する情報を提供し、市民活動に参加するきっかけをつくる

(3) 令和 6 年度 重点的に実施した項目（講座・事業など）

- ・新型コロナウイルスの流行により実施していなかった調理を含む講座を再開する
- ・気軽に来館してもらえるようセンターや予約システムについての紹介を充実させる
- ・乳幼児と保護者が気軽に参加できる講座を充実させる

2 白井駅前公民館講座実施報告

(1) 学習講座事業

対象	学習講座名	運営目標	回数	参加人数
家庭教育 (1)	B a b y t i m e (児童館共催)	① ・ ②	7 回	延べ 19 組 40 人
	チビちゃんポケット (児童館共催)	① ・ ②	7 回	延べ 16 組 35 人
	おひるねアート (児童館共催)	① ・ ②	1 回	11 組 26 人
	親子でピザ作り (児童館共催)	① ・ ②	1 回	6 組 14 人
青少年教育 (2)	トライアカデミー ～ものづくり教室～ (児童館、憩いの家共催)	① ・ ②	10 回	16 人
	えきまえキッズ (児童館共催)	① ・ ②・③	6 回	11 人
	夏休み子ども工作教室 (児童館、憩いの家共催)	① ・ ②	1 回	14 人
成人教育 (3)	ライフサポート講座 (憩いの家共催)	③	1 回	22 人
	おとなのメロンパン・調理パン作り	① ・ ②	1 回	8 人
	健康体操講座 (憩いの家共催)	① ・ ②・④	3 回	延べ 50 人
団体育成 (4)	システム勉強会	①	2 回	延べ 8 団体 10 人
	館内ツアー	① ・ ②	6 回	4 人

(2) 講座以外に行った事業

事業名	参加人数
地域懇談会 (利用団体連絡会) ※2 回実施	延べ 57 人
白井市第 5 次総合計画拠点創造プロジェクト「輪音」 (児童館・憩いの家共催)	171 人
駅前ボランティア (児童館・憩いの家共催)	
コミュニティファンド～駅前ファンド～ (児童館・憩いの家共催)	
季節を楽しむ会 (サロン) (憩いの家共催)	
白井駅前センターフェスティバル (児童館・憩いの家共催)	

※参加人数については、人数を把握している (おおよその人数を含む) 場合のみ記載

(3) 情報の提供

- ・センターだより
- ・子育て通信
- ・ブログ掲載
- ・自主事業ポスター掲示
- ・地域情報誌掲載
- ・利用者の活動ポスター掲示

(4) 施設の提供

- ・地域住民が地域課題に取り組み、交流を図る場の提供

3 事業の評価

(1) 分野別方針

	評 価
家庭教育 (1)	・親子で講座に参加し一緒に制作することで、親子の絆を深めることができた
青少年教育 (2)	・学年、学区の異なる子達が活動の中で教え合い、交流できた ・知識の豊かさと技術の向上が見られ、制作を楽しんでいた
成人教育 (3)	・いろいろな学びの機会を提供し、地域住民の交流を深めた ・身近な困りごとを解消できるよう情報提供の機会を設けた ・体を動かし、健康について考えるきっかけを作った ・講座の方針によっては参加者が集まらないことがあり、企画内容の重要性を感じた
団体育成 (4)	・センターの利用方法について知る機会を提供し、公民館利用人数を増加させた ・センターの利用方法について、より気軽に聞くことができる機会が必要だと感じた

(2) 令和6年度重点的に実施した項目（講座・事業など）

評価
・実施を再開した調理を含む講座は子ども・大人を問わず非常に好評だった ・センターの紹介は、さらに気軽な方法にする必要性を感じた。毎月開催するくらいの頻度が相応しいように思った ・乳幼児と保護者向けの講座を定期的を開催し、楽しんでもらうことができたが、少子化の影響があり、参加人数は伸び悩んだ、

令和6年度 公民館等団体別利用状況
(桜台公民館)

種別	青少年		成人		女性		高齢者		その他		個人		合計	
月	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4	41	571	82	1,124	11	74	2	19	18	279	7	35	161	2,102
5	49	675	82	948	6	45	1	4	24	359	13	34	175	2,065
6	45	517	90	1,105	8	54	2	4	28	399	14	54	187	2,133
7	43	519	91	1,101	5	37	1	2	33	508	10	64	183	2,231
8	31	425	84	793	9	53	1	4	22	185	14	74	161	1,534
9	37	488	86	852	8	50	1	5	29	370	10	44	171	1,809
10	36	602	92	927	6	41	0	0	24	488	7	22	165	2,080
11	37	479	80	744	6	43	1	4	44	825	5	19	173	2,114
12	33	486	91	882	4	39	2	7	35	415	7	91	172	1,920
1	38	562	94	996	8	73	1	5	27	243	3	27	171	1,906
2													0	0
3													0	0
合計	390	5,324	872	9,472	71	509	12	54	284	4,071	90	464	1,719	19,894
令和5年度・令和4年度それぞれの合計														
R5	489	6,496	1,086	12,774	36	353	17	107	318	6,725	58	436	2,004	26,891
R4	472	7,644	1,207	11,586	32	377	2	36	283	4,838	96	477	2,092	24,958

年間利用率は、小数点第1位まで記入してください。(小数点第2位を四捨五入)

令和6年度部屋別利用件数・利用人数

部屋名	利用件数(件)	利用人数(人)	年間利用率(%)
研修室	503	3,690	
作法室	303	2,641	
調理実習室	23	133	
視聴覚室	171	1,807	
レクホール	719	11,623	
合 計	1,719	19,894	
令和5年度・令和4年度それぞれの合計			
令和5年度	2,004	26,891	
令和4年度	2,092	24,958	

令和 6 年度桜台公民館 事業報告

(R7.1.31 現在)

1 運営方針

(1) 全体の運営方針

- ・単発だけでなく年間を通じて開催する講座を増やす
(昨年度から継続：デジタル講座（内容は変更するものもある）、新規予定：エンジョイ！スマイル倶楽部)
- ・生涯学習推進委員会でご指摘のあった調理実習室の利用を増やす
(再開：桜台キッチン、さくセンティーサロンほっとカフェ)
- ・夜間講座の再開（アフター 7 講座）

(2) 分野別方針

	運営目標
家庭教育 (1)	①多様な環境での子育てを支援し、子育てに対する意識を高める ②同世代の子ども同士、その保護者同士の出会いと交流の場と機会を提供する ③地域健全育成を図り、子育てによる閉塞感を緩和する
青少年教育 (2)	①異年齢、異学区の子ども同士や地域との交流を図り、社会性を養う ②想像力、創意工夫、生きる力をつけるための体験、学習、活動の機会を提供する ③自ら考え行動する青少年を地域で育成する
成人教育 (3)	①変化する社会に対応できる知識を学び、犯罪などから身を守るすべを提供する ②体を動かす楽しさを知り、運動機能の低下を防ぐ ③同じ趣味を持つ仲間づくりを支援する ④新しいことにチャレンジし、頭や体に刺激を与える
団体育成 (4)	①機能低下を予防し、仲間づくりを支援する ②新しくサークルを立ち上げることができるよう支援する

(3) 令和 6 年度 重点的に実施した項目（講座・事業など）

- ・年間をとおして市民の健康を促進する講座（エンジョイライフ倶楽部・ボッチャ協力・リフレッシュ倶楽部）
- ・食を通して交流する講座（桜台キッチン）
- ・地域活性の一助として、またコミュニケーションを通じて仲間づくりができるようなティーサロンの再開（さくセンティーサロンほっとカフェ）

2 桜台公民館講座実施報告

(1) 学習講座事業

対象	学習講座名	運営目標	回数	参加人数
家庭教育 (1)	子育てサロン（児童館合同）	①②③	4	のべ
	赤ちゃん広場「いちご組」（児童館合同）	①②③	10	
	湯浅先生のお話、聞いてみませんか？ （児童館合同）マカロニ工作（同判の子）	①③	1	20
				11
青少年教育 (2)	学ぶKids シリーズ（児童館合同）	①②	4	のべ 46
	学ぶKids「さくセンウォーク」（青少年 相談員・児童館合同）	①②③	1	7
	さくらだいクラブ～白井探検隊～（児童 館合同）	①②③	2	5
	さくセンフェスタこどもボランティア に挑戦（児童館合同）	①③	1	
	さくセンこども企画部（児童館合同）	②③	3	
成人教育 (3)	デジタル講座	①④	8	のべ 54
	白井歴史散策倶楽部～白井の魅力発見～	②③	2	5
	大人のチャレンジ講座	③④	2	のべ 12
	桜台キッチン	③④	1	12
	リフレッシュ倶楽部	②③④	1	13
	アフターセブン講座	②③④	2	のべ 22
	さくセン歴史講座	②③	1	9
団体育成 (4)	エンジョイ！スマイル倶楽部	①②	11	

(2) 講座以外に行った事業

事業名	参加人数
・さくセンフェスタ（利用団体の発表の場）	1451
・地域イズム（地域交流イベント）	180
・さくセンティーサロン ほっとカフェ	
・もっとほっとルーム（中高生の居場所）	
・初心者向けスマホ講座（市総務課主催協力）	1

※参加人数については、人数を把握している（おおよその人数を含む）場合のみ記載

(3) 情報の提供

【紙媒体】

- ・さくセン通信（桜台センター月刊情報紙）
- ・児童館だより（桜台児童館月刊情報チラシ）
- ・広報しろい（随時掲載依頼）
- ・ポスター、チラシなどの掲示と配布

【web】

- ・ホームページ
- ・ブログ
- ・SNS（Facebook、Instagram）

(4) 施設の提供

- ・貸館業務の充実（当日でも空いていれば利用可能）
- ・市の健診は休館日に行く
- ・期日前投票所
- ・YSB桜台&ハートの会協力（場所提供）
- ・ちば県立湖北特別支援学校保護者に駐車スペース提供

3 事業の評価

(1) 分野別方針

	評 価
家庭教育 (1)	児童館併設の複合施設であるということから、対象が被ることが多く、参加人数が少なかった。来年度は精査して企画を再考したい。 また「いちご組」参加者が1歳児～3歳児サークルへ移行していたが、ほぼ保護者が働きに出るため、サークル自体の参加者が減っている。 講座内容や開催日程、サークルサポートなど今までどおりとはいかない時期にきている。 家庭が多様化しているため講座内容はさらに精査しなくてはならない。
青少年教育 (2)	基本夏休みに開催する学ぶKidsシリーズは好評である。フェスタをメインとした企画部やボランティアも意欲的な子どもが集まり、手ごたえを感じている。
成人教育 (3)	デジタル講座は、コロナ時に高齢者が社会に取り残されないよう始めたスマホをメインとした年間講座を数年開催してきたが、そろそろ参加者も少なくなり、他センターでも開催していることから来年度は見合わせることにする。
団体育成 (4)	年間を通して、参加者を募集しつつサークル化を目指して開催した。 あと数回を残して、サークル化が決定したため、今後の活動のサポートをしていく予定である。

(2) 令和6年度重点的に実施した項目（講座・事業など）

評価
「エンジョイ！スマイル倶楽部」年間を通じて開催したのち、サークル化が決定した。 「さくセンティーサロンほっとカフェ」保健所の関係で、コロナ前に開催していた内容とは少し違ったが、徐々にカフェ目当てで集まってくださる方も増えてきた。また、サークル終了後のコミュニケーションの場としての利用も増えてきている。

**令和6年度 公民館等団体別利用状況
(学習等供用施設)**

種別	青少年		成人		女性		高齢者		その他		個人		合計	
月	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4	11	223	57	560	30	296	1	17	26	417	19	81	144	1,594
5	4	35	57	516	33	321			31	654	19	77	144	1,603
6	9	118	65	674	30	313			37	883	20	92	161	2,080
7	8	137	66	754	31	334			40	890	22	79	167	2,194
8	4	30	46	560	21	216			18	335	31	198	120	1,339
9	6	90	54	607	30	309	1	13	42	1,213	20	65	153	2,297
10	11	154	75	799	35	347			37	833	30	139	188	2,272
11	7	85	57	528	41	345	1	10	47	1,614	21	93	174	2,675
12	7	83	59	604	30	295			28	574	21	168	145	1,724
1	6	81	60	672	32	315	1	16	27	378	15	67	141	1,529
2	1	10	8	65							2	5	11	80
3													0	0
合計	74	1,046	604	6,339	313	3,091	4	56	333	7,791	220	1,064	1,548	19,387
令和5年度・令和4年度それぞれの合計														
R5	145	2,231	677	6,945	362	3,622	7	90	435	9,523	253	1,232	1,879	23,643
R4	144	1,987	826	7,158	362	3,366	1	14	389	6,578	152	827	1,874	19,930

年間利用率は、小数点第1位まで記入してください。(小数点第2位を四捨五入)

令和6年度部屋別利用件数・利用人数

部屋名	利用件数(件)	利用人数(人)	年間利用率(%)
集会室	295	2,599	25.7
休養室2	251	3,085	24.4
調理室	84	1,044	12.1
視聴覚室	176	1,884	13.8
大集会室	742	10,775	60.8
合 計	1,548	19,387	
令和5年度・令和4年度それぞれの合計			
令和5年度	1,879	23,643	
令和4年度	1,874	19,930	

令和 6 年度 学習等供用施設 事業報告

(R7.1.31 現在)

1 運営方針

(1) 全体の運営方針

- ・「市広報紙」「センターだより」等によりセンター情報の周知に努める。
- ・センター利用団体を講師に迎えた講座を開催し、新規参加者の獲得を支援する。
- ・施設内に事務所を置く、地区社会福祉協議会、まちづくり協議会等との連携強化を図る。

(2) 分野別方針

	運営目標
家庭教育 (1)	①子育て家庭の交流の場を提供し子育てに関する不安や悩みの解消を図る。 ②子育て経験の豊富なボランティアとの交流により子育てについて学ぶ。 ③親子のコミュニケーションを深める。 ④遊びや学びの場を提供し子供たちの視野を広げ、社会性や協調性を育む。
青少年教育 (2)	①学習・体験活動を通して視野を広げ、「知る」楽しさを学ぶ。 ②年齢にとらわれない子供たちによる交流の場を提供する。 ③講座等を通して様々な人との交流を促し、社会参加の促進を図る。 ④子どもの居場所の提供。
成人教育 (3)	①講座等を通して同じ趣味の人との交流の場を提供する。 ②世代を超えた生涯学習の楽しさを知る学習の場を提供する。 ③健康の保持や生きがいづくりをサポートし、健康寿命の延伸を図る。 ④自然に親しむ場を提供し、緑ある住環境の保全と推進を図る。
団体育成 (4)	①地域団体の活動をサポートし、団体の育成や連携を図る。 ②市民や各種団体等の交流を推進し、活動の活性化を図る。 ③より多くの市民が集う機会を提供し、地域の絆を深める。

(3) 令和 6 年度 重点的に実施した項目（講座・事業など）

- ・受講希望者が多い人気講座を継続開催し、サークル化を目指します。
- ・施設利用団体を講師に迎えた講座を開催し、新規会員の募集を支援する。
- ・参加者同士の交流促進を図るため、聴講だけでなくグループワークを含めた講座（料理教室等）の開催を増やしていきたい。

2 学習等供用施設講座実施報告

(1) 学習講座事業

対象	学習講座名	運営目標	回数	参加人数
家庭教育 (1)	ぴよぴよタイム	①③④	9	47
	喫茶室「みるく」	①②③④	88	78
	おやこであつまれ！ 0歳児親子	①③④	7	24
	おやこであつまれ！ 1歳児親子	①③④	6	12
	おやこであつまれ！ 2歳児親子	①③④	10	29
	ベビーリトミック	①③④	1	9
	幼児リトミック	①③④	1	7
青少年教育 (2)	夏休みチャレンジ講座			
	絵画教室（全2回）	①②	1	20
	プログラミング教室	①②	1	10
	冬休み書き初め練習会	①②	1	21
	ふじセン秋まつり	②③	1	270
	土器ッと古代	①②	1	20
	詰将棋にチャレンジ	①②③	1	3
	将棋体験教室（全3回）	①②③	1	4
	元アマ名人将棋教室	①②③	1	8
	囲碁体験教室（全3回）	①②③	1	2
	なつやすみパッキングクッキング教室	①②	1	12
	ビーズアクセサリ講座	①②③	1	8
成人教育 (3)	クッキング教室	①②③	3	27
	プチパーソナルカラー診断	①②③	1	7
	終活支援講座	①②③	2	10
	家庭菜園教室	①②③④	2	12
	ヨガ教室	①②③	1	11
	薬膳＆ヨガ教室	①②③	3	22
	スマホ教室	①②③	2	24
	そば打ち体験教室	①②③	1	8
	シュートレーン教室	①②③	2	20
	普通救命講習会	①②③	1	10
	バランスボール教室	①②③	1	20
	飾り太巻き寿司教室	①②③	1	7
	収納整理講座	①②③	1	12
団体育成 (4)	世代間交流(ボッチャ)	①②③	1	41
	富士センター音楽祭	①②③	1	198

(2) 講座以外に行った事業

事業名	参加人数
トイトイランド	17
ハッピーハロウィーン	261
クリスマス会	11
体育館で遊ぼう	31
センターフェスティバル	1,500
美化交流会	31
映画&音楽鑑賞会	92
ふじっこダイニング	189
シニア食堂	236
憩いのサロン	149
第三小学校児童早朝あずかり	45

※参加人数については、人数を把握している（おおよその人数を含む）場合のみ記載

(3) 情報の提供

- ・市広報紙へのセンター自主開催講座等の情報掲載依頼
- ・センターホームページへの自主開催講座等の情報の掲載
- ・センターの情報を掲載した「センターだより」「児童ルームだより」の発行
- ・自主開催講座等の個別宣伝ポスターの作成
- ・上記で作成発行した「センターだより」「児童ルームだより」「宣伝ポスター」等を第三小学校区内の自治会へ回覧、小学校児童への配布、近隣店舗等への掲示を依頼
- ・フェスタ等の大きなイベント開催時には地域情報サイト「しろいまっち」や地域情報紙「地域新聞」等に情報を提供し、掲載を依頼

(4) 施設の提供

- ・ロビーを市民に開放
- ・児童ルームを子育て親子の交流の場、子どもの居場所、交流の場として開放
- ・1階休養室を高齢者の憩いの場、交流の場として開放
- ・2階学習コーナーを中高生の学習の場として開放
- ・市民や団体等に学習の場、リクリエーションの場、会合や交流の場として部屋を貸出
- ・地域自治会等の行事に施設保有備品等を貸出

3 事業の評価

(1) 分野別方針

	評 価
家庭教育 (1)	・子ども同士が遊びを通して交流することができた。 ・学びを通して参加者同士が交流し、同じ年代の子を持つ親同士や地域ボランティアとの交流により育児についての悩みや不安を相談できる場を提供できた。 ・運動不足やストレスを解消する手助けができた。
青少年教育 (2)	・自ずから考え、作品を作り上げる喜びを知ってもらえた。 ・遊びや学びを通して参加者同士が交流し、協力し合うことを学んだ。 ・講座等を通して、老若男女、様々な人と交流した。 ・児童ルーム、学習スペースを開放し子どもたちの居場所を確保した。
成人教育 (3)	・趣味についての知識を深め、同好の士との交流が図れた。 ・興味のあったテーマについてお試し体験をする場を提供した。 ・健康の保持や生きがいを見つける手助けができた。 ・自然に親しむ場を提供し、緑ある住環境の保全と推進した。 ・野菜を一から育て、収穫する喜びを知ってもらえた。
団体育成 (4)	・小学生から高齢者まで参加できる軽スポーツ（ボッチャ）大会を開催し、参加者をランダムに組み合わせたチームを作ることで、世代間交流が図れた。 ・センターを利用する団体を中心にした日頃の成果を発表する場を設け、団体活動の活性化、団体同士や市民との交流が図れた。

(2) 令和6年度重点的に実施した項目（講座・事業など）

評価
・人気講座を継続開催し、サークル化を目指しているが、リーダーが見つからず、サークル化ができていない。 ・参加者同士の交流を図るため、運動に茶話会をセットした講座が好評を得ているの増やしていきたい。「茶話会時に参加者同士の会話が弾んだ等」

**令和6年度 公民館等団体別利用状況
(青少年女性センター)**

種別	青少年		成人		女性		高齢者		その他		個人		合計	
月	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4	1	4	48	549	16	152	12	132	13	151	6	41	96	1,029
5	0	0	38	393	19	157	9	92	19	242	4	7	89	891
6	7	134	49	484	16	119	12	131	18	223	6	10	108	1,101
7	2	27	46	557	16	107	11	121	15	238	9	24	99	1,074
8	0	0	35	330	15	122	13	119	13	175	10	29	86	775
9	0	0	40	499	19	130	15	147	14	406	4	13	92	1,195
10	2	30	45	578	26	213	16	141	30	342	10	14	129	1,318
11	1	11	48	553	25	209	13	132	23	301	1	5	111	1,211
12	2	13	32	400	24	216	13	131	15	212	10	120	96	1,092
1	1	9	35	381	22	225	13	122	14	136	7	45	92	918
2													0	0
3													0	0
合計	16	228	416	4,724	198	1,650	127	1,268	174	2,426	67	308	998	10,604
令和5年度・令和4年度それぞれの合計														
R5	38	316	500	5,130	231	1,761	160	1,392	188	2,642	90	241	1,207	11,482
R4	89	1,070	548	5,152	209	1,495	107	913	226	3,090	152	305	1,331	12,025

年間利用率は、小数点第1位まで記入してください。(小数点第2位を四捨五入)

令和6年度部屋別利用件数・利用人数

部屋名	利用件数(件)	利用人数(人)	年間利用率(%)
研修室	309	2,091	
会議室	195	1,884	
調理室	34	411	
レクリエーションホール	460	6,218	
合 計	998	10,604	
令和5年度・令和4年度それぞれの合計			
令和5年度	1,207	11,482	
令和4年度	1,331	12,025	

令和 6 年度 青少年女性センター 事業報告

(R7.1.31 現在)

1 運営方針

(1) 全体の運営方針

- ・「住民 1 人ひとりの福祉ニーズに対応し、みんなが安心して暮らせるまちづくりの実現」を目指し、取り組む。
- ・「誰もがありのままにその人らしく」をコンセプトに、子どもから高齢者までの各年齢層が気軽に参加、交流できる事業の実施。

(2) 分野別方針

	運営目標
家庭教育 (1)	①子育て世代が交流し悩みや不満を解消出来る機会をつくる。 ②子育てを通じて男女共同参画の推進を図る。 ③家事や育児に男性参加を促し固定的性別役割分担意識の解消を進める。
青少年教育 (2)	①市内の小学生を対象に、交流の場を設け仲間づくりを推進する。 ②市内の小学生を対象に、体験を通して学習し興味を促す。 ③中学生以上を対象とした、進路にも繋がる体験学習の場を提供する。 ④講座を通じて子どもたちの自主性や主体性を育てる機会の場を提供する。
成人教育 (3)	①再就職を目指す女性にスキルアップやキャリアアップのための学習ができる機会をつくる。 ②自立が困難な母子家庭の母親や DV 被害者の女性を優先し自立支援を行う。 ③人とのコミュニケーションが苦手等働きづらさに悩む若い女性居場所づくり。 ④地域で自分らしく生き生きと働けるようワーク・ライフ・バランスを推進する。 ⑤女性のための生涯学習の場を提供する。 ⑥地域住民が集い、コミュニティの場を提供する。
団体育成 (4)	①学習成果の発表の場を提供し、団体活動の支援をする。 ②対人関係が苦手なかなか社会に参加することが難しい女性に交流の場を提供する。また社会参加の機会を提供する ③障がい者のための生涯学習を支援する（余暇活動）。

(3) 令和6年度 重点的に実施した項目（講座・事業など）

- ・男女共同参画事業の啓発、周知
- ・地域交流・世代間交流をはぐくむ

2 青少年女性センター講座実施報告

(1) 学習講座事業

対象	学習講座名	運営目標	回数	参加人数
家庭教育 (1)	子育て支援講座「どうする？子どもの教育費」、「ボリュームサンド作りとママのおしゃべり会」、「乾燥から身を守る！うるつや習慣」	①②	3回	12人
	おやこチャレンジ「書写」、「バルーンアート」、「ダンス」、「ケーキ作り」	②③	5回	37組
青少年教育 (2)	親子バイオ実験教室	①②④	1回	25組
	きっずトライ「勾玉作り」	①②④	1回	16人
	プログラミング講座	①②④	2回	10人
	中高生向け理系ナビ	③④	1回	13人
	おうちシェフ 「ピザ」	①②④	1回	15人
	中高生向け文系ナビ	③④		中止
成人教育 (3)	女性支援講座 ストレスフリー講座 「基本のアロマ」、「ブレンド茶」、 「ピラティス&ストレッチ」、「リフレクソロジー」	③④⑤⑥	4回	41名
団体育成 (4)	障がい者の生涯学習講座 「カレーを作ろう！食べよう！」	③	1回	3人
	こころのC a f e	②③		0人

(2) 講座以外に行った事業

事業名	参加人数
福祉センターフェスティバル	493
男女共同参画イベント「落語で笑って男女共同参画」	41

男女共同参画週間における周知・啓発活動	
合同事業（＊福祉作業所との）「七夕」、「クリスマスミニコンサート」	
こころの Cafe	0 人

※参加人数については、人数を把握している（おおよその人数を含む）場合のみ記載

（３）情報の提供

- ・ 講座、行事（イベント）情報は、広報しろい、市 line 配信、社協しろい、HP、Facebook にて情報提供。
- ・ 各講座チラシを作成し、関係機関に配布、掲示。
- ・ 情報誌「清戸の杜」の発行（毎月）。
- ・ 就労に関する情報提供。

（４）施設の提供

- ・ 青少年または女性団体、グループで行う活動のための施設の提供。
- ・ 青少年の健全育成に携わる者が行う研修、会議などのための施設提供。
- ・ 青少年の健全育成及び女性の社会活動に資する情報及び資料の提供。
- ・ 団体活動の発表や掲示等の活動への協力。「ご意見箱」を設置し、利用者からの意見や要望を聞き、改善することでより良い施設の提供。

３ 事業の評価

（１）分野別方針

	評 価
家庭教育 （１）	・ おやこチャレンジは、各講座とも参加者から好評いただいた。 ・ 子育て支援講座は参加者が少なかった。参加された方からは好評であったこともあり、周知方法の検討をし、幅広く行っていく必要がある。
青少年教育 （２）	・ 小中学生の講座は、比較的人気があり、興味や関心を深めることができた。 ・ 今後も学校へのチラシ配布など周知を広く行っていく。 ・ 内容についても時代の流れに沿って、興味や関心のある内容を取り入れていく。
成人教育 （３）	・ ストレスフリー講座は、参加者から好評であり、知識を深めることができた。また、参加者同士での交流が図れた。 ・ 今後も興味や関心事をはじめ、時代の流れに沿った内容を取り入れていく。
団体育成 （４）	・ 障がい者の生涯学習講座では、みんなが好きなカレー作りに取り組んだが、参加者がもう少し多くても良かった。より周知が必要であった。参加者が少ない分支援はできたが、参加者と支援者（ボランティア

	ア) のバランスが大事となる。 ・「こころの Cafe」は、問い合わせはあるものの参加するまでに至らない。今後検討していかなければならない。
--	--

(2) 令和 6 年度重点的に実施した項目（講座・事業など）

評価
・小学生を対象にした講座の充実。他の講座へも興味をもって申し込んでくれることがあった。 ・親子で参加する講座の充実。お父さんと調理をする講座を 1 つ増やし、お父さんと子どもの時間を設定することができた。今後も男女共同参画の視点から「お父さんの育児」 ・男女共同参画イベントでは、福祉センターフェスティバル内において、市民活動支援課との共催による「落語で笑って男女共同参画」を実施した。この企画は、男女共同参画を考えるきっかけ作りとなった。アンケート調査では、理解度が深まったとの意見が多くあった。また今後取り上げてほしいテーマに「ワークライフバランスや働き方改革」「性別にとらわれない家事・育児・介護」などが挙げられた。これらを踏まえ、今後も継続して取り組んでいきたいと考える。